

経営比較分析表（平成28年度決算）

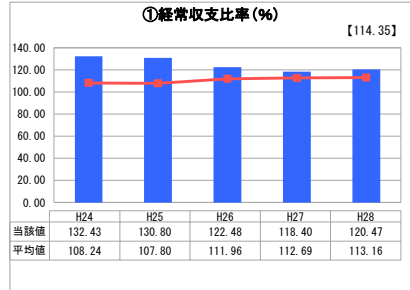
岐阜県 高山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	69.39	99.07	2,570	

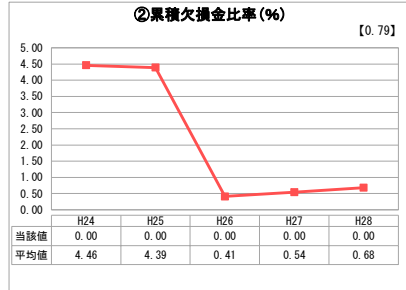
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
89,913	2,177.61	41.29
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
88,432	168.21	525.72

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

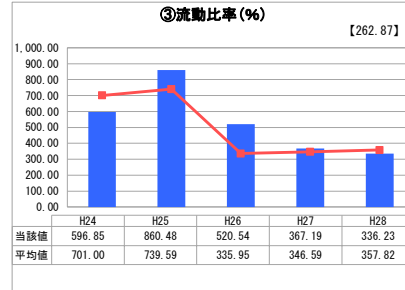
1. 経営の健全性・効率性



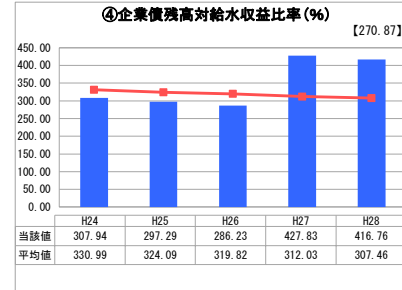
「経常損益」



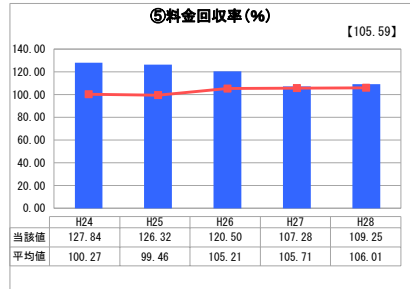
「累積欠損」



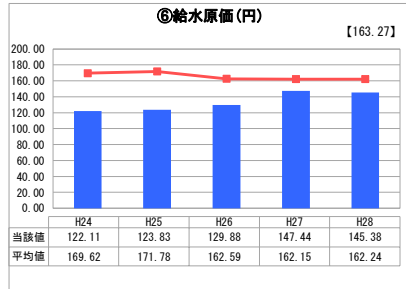
「支払能力」



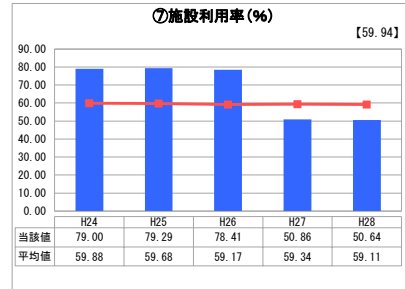
「債務残高」



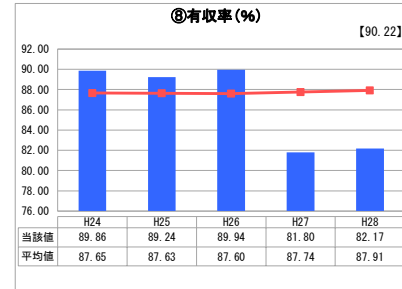
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

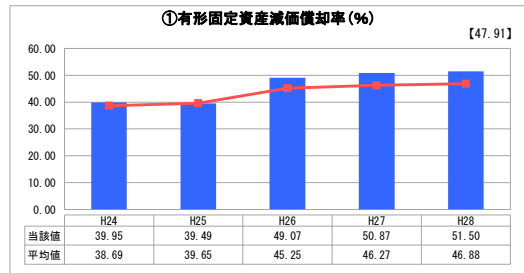


「施設の効率性」

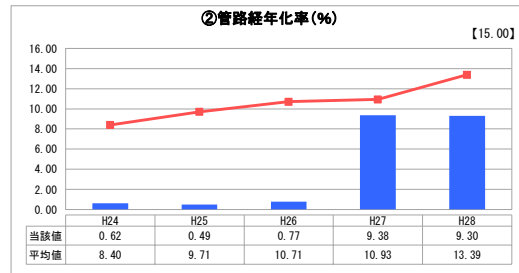


「供給した配水量の効率性」

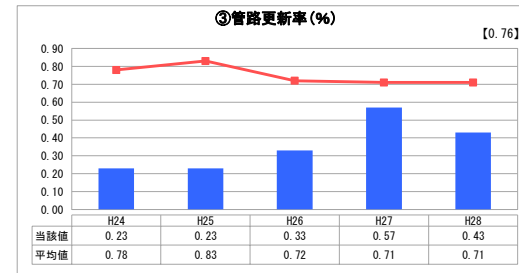
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成27年度から簡易水道事業を経営統合し全市一体の水道事業となったため、いくつかの指標で類似団体平均値より下回っているものがある。そのうち、企業債残高対給水収益比率については、旧簡易水道企業債に対する繰入により今後の企業債償還資金は確保できているとともに、企業債残高の計画的な減少が図れている。また、有収率については、特に低い地域での集中的な漏水調査及び修繕により改善を図っている。今後の人口減に伴う水需要の減少に対応するため、水道料金の収納確保や施設の統廃合等による経費節減に取り組み、経営の効率向上に努め、経営基盤の強化を図る。

2. 老朽化の状況について

管路更新率が低いのは、管路等の更新基準及び更新の優先順位を定めて、単価が高い大口徑の重要な管路から更新しているためであり、計画的に老朽化対策及び耐震化に取り組み、平成46年度までに基幹管路の耐震化完了を目指している。

全体総括

高山市第八次総合計画に対応する水道事業整備5か年計画及び水道事業経営戦略において、中期的な視野で必要となる事業量を把握し、事業費の低減と平準化及び投資と財源の均衡化を図りながら事業実施することとしている。さらに、管口徑のダウンサイジングにより更なる管路更新の延伸を図るが、将来的には赤字や資金不足が予想されるため、適時に水道料金改定を行えるよう検討していく必要がある。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。